



原田哲男 HARADA Tetsuo

アーティスト、彫刻家

1949年8月25日、新潟県、新潟市生まれ(旧新津市)

1973年よりパリとシャルトル近くの村の二カ所にアトリエを設ける

ヴェルサイユ建築大学助教授 1993～2012

アトリエパリ ボザール (1973～1975)

新潟・フランス協会パリ支部長

【ドキュメンタリー映画】「Sculpting for Peace」

ジャン＝フランソワ・エヴァン監督

原田哲男 平和を彫る 原田哲男 2023年4月27日

フランスと日本を基盤に制作、発表をして、73歳になりました。70歳になった年、パリ生活50年のまとめをしたいと考えていました。丁度その頃映画監督、ジョン フランソワ エヴェンと知り合い。彼が私の次男、ジョンセザール・実が中心になって編集した私の本を読み、アトリエを訪ね、私の考え方や、作品に感動してくれ、映画を作りたいと話し出しました。それがきっかけです。映画は二年掛で2021年に完成したと記憶しています。今まで、丁度コロナ問題で外出禁止などの時期で、スタートは大変でした。パリの映画館サンミシェルにあるサン・アンドレ＝デザールで2022年5月3日に初上映されました。その後フランスの色々な町の映画館で放映されています。この映画製作 “Harada, sculpter pour la paix »、「原田 平和の為に彫る」は日本でも多くの賛同者、協力者の皆さんの援助が有ったお陰で完成しました。パリに渡り50年、一貫した平和をテーマにした作品を制作して来たつもりです。多くの皆さんに見て頂けることに感謝します。

【略 歴】

原田哲男は1949年に日本-新潟で生まれました。高校では、基礎からのデッサンを学び、その頃から西洋美術的感性に親しみを受け(彫刻家ではヘンリー・ムーア、バーバラ・ヘップワース、ブランクシー、イサム ノグチ等、または音楽では、ヨーロッパのクラシック作品にひかれると同時に、ビートルズ、ケイト・ジャレット、マイルス・デイビス、アズナヴァール、モンタン等を聞いて過ごします)。1968年から1972年の間、東京、多摩美術大学、彫刻科に入学卒業。直彫り彫刻を好み、それらの作品が地球上に存在し繋がって行くと言う作品が生まれて行きます。彫刻を始めた頃の学生時代には、秋田や小豆島のシンポジウムに参加しています。同じ頃、東京と新潟で作品を発表しています。

1973年にヨーロッパ旅行をして、その後、パリに定住します。彼はパリの美術学校-ボザールに通い、ヨーロッパでのコンペやシンポジウム、展覧会に参加し始めます。彫刻家としてのキャリアは国際的に活動始める事です。彼の作品は色々な素材を使い、それらにあったテクニックで表現され、夢を追って前進する様に模索しています。彼は人そのものの価値感を信じ、1983年から2012年まで、国立ヴェルサイユ建築大学で美術を教えながら制作活動を続け教育にも時間を割いていました。

(新潟・フランス協会 2023年5月1日)